

広報 まつのやま

1995年(平成7年)

7月号

No.233 7月10日発行

発行／松之山町役場 〒942-14 新潟県東頸城郡松之山町松之山 編集／総務課 ☎ 02559-6-3131 FAX 02559-6-3515



ワッー、地震だ！机の下にかくれろ

震度5の地震が松之山保育所を襲う —園児が地震体験車に搭乗—

今月号のページ

特集—たんぼシンポジウム……………2～5
議会6月定例会、国保のお知らせ……6～7
はくほく線の旅、わが家の人気者……8～9
わだい・フォト、生涯学習だより……10～13
お知らせ、戸籍の窓……………14～16

6月9日、松之山保育所に地震体験車「なまず号」がやってきました。町内保育所の園児たちは3～4人づつに別れて地震体験車に搭乗し震度1から5までの地震の揺れを体験、大きな揺れになると一斉に机の下に身をかくすなど地震の恐ろしさを体験していました。

日本の原風景 “たんぼ” を守ろう

特集

たんぼシンポジウムin松之山

全国から約四百人が参加、農業や環境保全など語り合う

六月八日・九日の二日間、町民体育館で「たんぼシンポジウム in 松之山」95日本の原風景」が開催されました。この事業は、今年度の過疎地域活性化事業の中で実施されたもので、日本の原風景といわれる美しい農村風景を形づくる「たんぼ」、この「たんぼ」を守り中山間地域の活性化を探ろうというのがねらいです。シンポジウムでは、作家の立松和平さんや写真家のジョニー・ハイマスさんを迎えての対談やパネル討論などが行われました。シンポジウムの内容と町内から参加したみなさんの声をお伝えします。

なぜ、たんぼシンポ

昭和四十年代の前半まで、松之山町では急傾斜地でも至る所で「たんぼ」が耕されていました。四季折々にその姿を変える「たんぼ」は、日本の稲作文化の原風景・象徴とも言われてきました。しかし、今では耕作放棄されたところが多くなり荒涼とした風景が広がってしまいました。これは、全国の中山間地でも同じことが言えます。社会情勢も人々の考え方も急激に変わり、その結果「たんぼ」は農地としての役目を奪われ消滅しようとしているかのようです。

今回のシンポジウムは、中山間地における農業や農地をいかにしたら守り残すことができるのか。そして、これからの農業

や環境保全などについて考え、語り合っていたらどうと開いたものです。

シンポジウムには、北は青森から南は熊本までの中山間地の住民や行政担当者、また東京など都市住民も含め四百二十人が参加しました。

自然破壊は悲しい

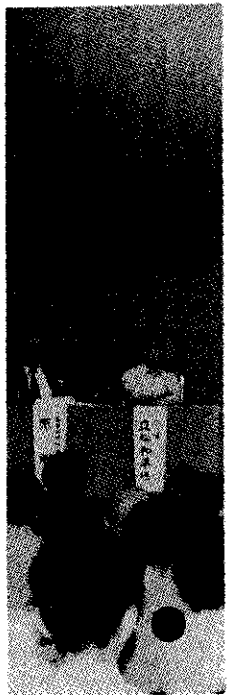
シンポジウムはまず、オープニングセレモニーとして、今回のシンポジウムのきっかけとなったジョニー・ハイマスさんの写真集「たんぼ」のスライド上映で開幕し、村山町長が「この企画が一過性で終わるのではなく、議論の場としてこれを発展させて頑張っていきたい」と開会のあいさつを行いました。

次に「田んぼは美しい」と題し、ジョニー・ハイマスさんと

立松和平さんの対談が行われました。ハイマスさんは、「松之山は八年前と少し変わってきている。松之山には自然が残っている。たんぼ」や人や町にも歴史的美しさがある。そこには日本の魂が生きている。全国には、松之山と同じ美しいところがいっぱいあるが自然破壊などで二十一、二十二世紀まであるかどうか分からない。これが心配だ、



たんぼシンポ・参加者の声



そして悲しい。」と語りました。
また、立松さんは「地球の資源の中で一番重要なものは土（表土）であり、農業も森もその上にしか成立していない。すべての生物が土の上に立っており、とても薄い土を大切にしなければならぬ。」日本人は自然の恵みや摂理と共にこれからも生きていくべきだと語りました。

き効率的につき合ってきたが、どこかで狂ってしまった。二千年も持った「たんぼ」を一年で消失してしまうことになってきた。「風景が美しいというのは、そこに生物の世界（生態系）があるからで、たんぼにも生態系がある。そこには、人が作ってきた生態系があるから美しいのではないかと語ってくれました。

基調講演では、毎日新聞社論「説委員の原さんが『中山間地は日本農業を支える生産現場であり、山里の農林業は国の富をつくっていく第一歩である』と提起し、これからの中山間地農業は、『日本の山里農業を国土と環境資源を保護しつつ、新しいタイプの都市消費者の大幅な意向を取り入れた安全と安らぎを

トレードマークにする農業に移って行くべき時期である」と述べられました。
その後、パネル討論が行われ第一部を終了しました。
第二部では、都市と農村の交流会また、翌日は町内視察ツアーが行われ、棚田などを観察しました。
また、自然休養村センターでは「たんぼ」写真展が開催されたくさんの方が訪れました。



高橋 伸さん（大荒戸）

農業

棚田の畦に大豆が繁っている、そんな風景を見ることがほとんどなくなつた。米と大豆（味噌）と野菜があれば生きられる、その棚田を守るという、賛成です。

安全で安心して食べられる植物を安定して安値で供給してもらいたい、これが消費者の願いだという。安全で安心して食べられる食物は出来るが、それを安定して安値で供給となると難しくなる、棚田はそこがネックになる。まさに「四安」のときで、消費者と一緒に「しあん」しなければならない。

高波 悟さん（下川手）

団体職員

シンポジウムに参加し自然の美しさ偉大さを感じると共に、これからの農業情勢を認識することができ良かったと思います。稲作は半年間もの長い管理でやっと「米」になります。農地の荒廃を防ぎ、農業従事者が一年でも長く農業に従事するには、各機関の協力と共に各地区の中で老若男女が、作業を分担する部分別受委託が必要だと思えます。また、労力の省力化のため基盤整備も促進し、良い農地が不可能な所はブナを植栽し水源かん養にも努めてほしいと思います。

「たんぼ」心にひびく言葉聞いたシンポジウムでは、たんぼを美しきでとらえることを知った。四季と共に移り変わるたんぼを改めて思い浮かべた。郡市集中型の経済成長は地肌を出して崩れ、覆いかぶさる草木、荒廃したたんぼを生み、村を壊させた。ジョニーさんは美しい棚田の原風景が失われることを憂いられた。たんぼは松之山の基幹であり、今回のシンポジウムを契機とし改めてたんぼの重要性を認識して、みんなの目が向くような魅力ある政策を切に期待する。

佐藤良雄さん（天水越）

農業

明治、大正、昭和、平成のそれぞれ時代の農民はそれなりの役割を果たしてまいりました。戦後五十年、民主主義・自由主義体制のもとに農民だけが古い体制の中に残り残されて来たような気がいたします。人生五十年も過ぎて農業を続けてきたことが、なぜかホットする気持ちでございます。これから中山間地農業に取り組む一人として、「たんぼシンポジウム」に席を与えていただきましたこと心より感謝申し上げます。

役・職員のみなさん本当にご苦労さまでした。

丸山 明さん（藤倉）

農業

小見重義さん（黒倉）
棚田が美しい姿を保っているのは、そこを生活の基盤として子供を育てるように毎日稲とこしばを交わし、愛情を注ぐ農民がいるからなのだ。半年間に十八回も手をかけてやっと実を結ぶ米。その米づくりが、経済効率優先と担い手の高齢化、後継者不足で失われようとしている。

中山間地の農業を守ること、世界にまれな四季折々の美しい姿を見せる自然を守ることでもある。認定農業者制度に加え、中山間地農業への国からの補助制度の発足を強く望む。

特集・たんぼシンポジウム in 松之山 パネル討論

パネル討論では、対談や基調講演などをもとに第一に「山間の農業の棚田をどうやって生かしていくか」、第二に「農家の高齢化と後継者問題」の二つのテーマで意見をいただきました。

なお、紙面の都合で一部省略させていただきました。

自然環境や文化・安全などを 前面に出した中山間地域対策を

原 榑原町では九月に棚田サミットが開かれますが、相当な決意をもって棚田を残して行こうということのようですが、どんな型をお考えですか。

中越 棚田のオーナー制度を行ってみたい中で、一番大切なのは国土の保全、自然景観の保持、それともう一点は学習の場であるところの多くの人が述べられています。そのことから考えると、先人たちが営々として今日まで行ってきたこうした自然や文化的な価値面をとらえて残して行くべきではないかと思っています。

原 国土庁では、山間地の農業・水田というものを日本の国土計画の上でどのような存在・価値としてこれから位置付けをなしていますか。

小峰 私の個人的な意見ですが、水田の持っている水源かん養や景観の保持などの機能をもっと認識し、それに対して必要であればそれなりの費用負担して行

かなければならないと思います。原 四全総の上で中山間地の問題は、国土利用の面で位置付けを持つているのですか。

小峰 それほど明確な認識はなかったと思います。ですから、現在新しい総合計画を検討しています。来年度中には作成することになっていきます。この中では、中山間地の位置付けは従来

にないウエイトを持つて位置付けられています。

原 大規模化すると農水省では三割から四割コストが下がって、場合によっては五割下がるようなことを言っていますか。

田中 松之山で一町歩区画はほとんど不可能で、それをやれば水を一人で独占することになります。大きくても二反歩、機械の効率を考えると一反歩でも上等等だ

と思います。

それ以上無理して造成し

た場合、必ず自然災害などでもつと経費がかかります。



小峰隆夫さん
国土庁官房審議官



中越武義さん
高知県榑原町助役

で貸しています。

原 中越さんのところは逆で、棚田のオーナー制度は現状の棚田を保持する型で、まとめる方針のようですが、これはどのような考えに基づいてですか。

中越 私のところは石を積んで造った田んぼで、このように圃場整備すると反当り何百万円もかかります。それでは生産性が上がりません。それなら、いままで地域の人が昔から作ってきた田んぼを自然景観と合わせてオーナー制を行っています。

原 土地の特性・個性・自立性というものが国の一律な政策でせつかくの芽がつぶされてい

ます。これを変える時期だと思

うんですが、何か良い案はない

でしょうか。

小峰 これからは中央の政府がある統一的な方針を決めて全国一律に行うというのは難しくな

ってきます。地域の自主性を重

んじる施策が多くなり、これは

変えられない流れだと思います。

それは、逆に地域の人たちには

厳しい状況とも言えます。地域

間の競争が厳しくなるとい

うことを考えておく必要があります。



田中富士雄さん
農業（西之前）



村山政光
松之山町長

原 認定農家に選ばれると逆に制約を受けませんか。

田中 私は自己完結型の人間です。ほとんど補助金に頼りません。私の年代はそれでいい

と思うんですが、これから若い

後継者が残ろうとした場合、お

おいにこの制度を利用して行か

ないと育たないと思います。

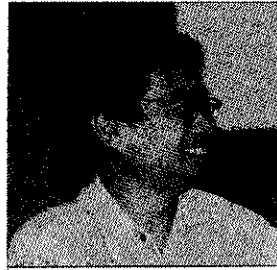
原 立松さんは稲作の経験者で

すが、もし立松さんが松之山町で棚田オーナーまたは、準認定農家として頑張ろうとしたらどんな営農をしますか。

立松 僕だったら一生懸命に米を作るのともう一つ、価格破壊



原 剛さん
毎日新聞社・論説委員



立松和平さん
作家

にのらない農業ですね。外国の農産物と競合しない米づくり、要するに付加価値を高めるようになるものです。それだけの価値のあるところですから、何か松之山のブランドを確立するという方向で考えます。

原 付加価値と言われましたが、松之山の米で付加価値をつけるとしたら、どのようなことがありそうですか。

田中 単位収量は新潟県内でおそらくビリですね。収量は一反歩当たり四百五十キロ前後です。その面から言えば、安全性と食味しかないです。でも、それは

消費者にはなかなかわかってもらえません。食べてみて初めてわかることですから。

立松 それはPR不足では！

田中 PR不足はありますが、新しい食糧法になり、初めて自分たちでPRできるのであって、今までは政府に納めるだけでPRできなかったからです。

立松 みんなが米を作りたいと思っているんですが、そのきっかけがないんです。米というのは、土があつて大地を利用していく命の精髓なんだということの子供たちに教えたいですね。

原 松之山町では、小学校などで農業教育というものを現在どのようにやっていますか。

村山 昔は学校田というのがありましたが、最近は少なくなっています。むしろ、都会の子供たちの方が農業体験をしたいと山村留学や交流などでたくさん訪れています。

若者定住へ「助成金」やり直しの効く柔軟な社会に

原 村山町長さん、高齢者化と後継者の問題はどのような解決が可能なんでしょうか。

村山 難しいですね。多少のことはできるでしょうが、担い手

中越助役さんが言われたように、土になじむことは人間形成の大きな根幹だと思います。松之山町でそれを体験させて行きたいと思っています。

原 耕作放棄地や不作地がだんだん広がる状況の中で、国の政策としてどのように考えたらよいのでしょうか。

小峰 いま放棄されている場所を全部昔どおりの形に保持しようというのは無理です。保持すべきものとそうでないものとに分けて対応して行くことが、国の施策としては考えられます。

立松 新規就農者を考えた場合、現状の法律では簡単ではなく、時間もかかります。農業の活性化を阻んでいる法的な要素があるんです。

農業全般を考えた場合、農業を活性化するにはほかの血を入れることも必要ではないかと思っています。

公社があつてもそれで後継者不足は解消できないと思います。

ただ、今の子供たちは地元に残りたいという気持ちが一時期より多くなりました。最近では、

親も子もここにいたいという気持ちになり、高校卒業すると地元に残るようになっていきます。

町の担い手公社では、採用後に県の農業大学校に入学させ、学校に通っている間、月三万円づつ学費を補助しています。

原 樽原町は、この問題をどのようにとらえていますか。

中越 高齢者の場合はどうしても避けて通れないと思います。若者の定住では何が基本になるかと考えると、「職」「遊」「住宅」の三つだと思います。そこで、独身者などが入る住宅を建設しました。

また、町では独自に三億円の基金を積み立てその果実で、学校を卒業し地域で農林業を行う若者に対して、月三万円、五万円、十万円の援助をし、結婚時には十万円、子供一、二人目に十万円、三人目に三十万円などの祝金を出しています。それが今のところ成果を上げています。

小峰 高齢化とか後継者問題は日本全体の話です。一方で、産業空洞化で雇用不安があるという話があり、逆に農村の方は後継者不足で労働力が足りないという話です。ある意味では配置の問題でもあります。

いままでの日本の社会はやり直しの効かない社会でしたが、これからはやり直しをする人が増えてくると思います。都会で生まれても農業をやりたいという人もいると思います。また逆の場合もあります。もっと、フレキシブル(柔軟)な社会にして行くことが重要だと思います。

いままで農業をやっていない人でも農業を営めるようにし、これに対し障害があれば改めることが重要になって来るのではないかと。それで全部後継者問題が解決するとは思いませんが、多少は緩和することになるのではないかと思います。

立松 小峰さんの話はとても示唆に富む話だつたと思います。これからは、フレキシブルにやり直しの効く社会を創つたらどうでしょうか。そうすれば今のような、その土地に生まれたらその土地に居なくてはならないという硬直した考えにはならないで、もう少し人間が自由になるのではないかと思います。

原 これからは、我々がはつきりした方向と考えを選択すれば、その方向に向かって日本の社会は力強く動いて行くことは十分にあると思います。



6月定例議会

一般会計補正予算を可決

— 2億5,499万6千円を追加

町税条例の一部改正を議決

平成七年第三回の町議会定例会が六月二十二日・二十三日の二日間開催され、十二の議案などが審議されました。

審議された主なものは、平成七年度一般会計及び四つの特別会計の補正予算を中心に、条例の一部改正や工事請負契約の締結についてなどです。

なお、審議に先立ち専決処分事項の報告のほか三項目について報告されました。

一般質問では、「東京事務所

について」「下水道の加入者負担の軽減について」「村山町の二十年の歩みについて」「中山間地域総合整備事業について」「統合後の校舎利用について」など、五人の議員が二十項目の質問をしました。

一般質問など詳しい内容は、「議会だより」で紹介されます。今回審議された補正予算及び条例の一部改正は次のとおりです。

なお、すべて原案どおり可決されました。

議案審議

〔予算関係〕

▼一般会計補正予算

歳入歳出とも二億五千四百九十九万六千円を追加し、総額三十四億六千六百九十九万六千円となりました。

主なものは別表のとおりです。

▼国民健康保険特別会計補正事業勘定は歳入歳出とも九十四万八千円を減額し、総額二億九千九百七十七千円となりました。

▼直営診療所勘定は歳入歳出とも四百四十五万七千円を追加し、総額三億二千六百三十六万八千円となりました。

一般会計補正予算の主なもの 〔歳出〕

◆民生費

・合併処理浄化槽設置整備事業費補助金
△10,060千円

◆農林水産業費

・営農飲雑用水施設用地測量委託料
9,335千円

・西浦田地域営農飲雑用水施設工事請負費
35,200千円

◆土木費

・下水道特別会計繰出金（過疎債分）
138,900千円

・県道昇格引継ぎ調書作成委託料
15,000千円

する条例

▼松之山町地域福祉基金条例の制定

▼松之山町ホームヘルプサービス事業に伴う費用徴収条例の制定

▼松之山町ふるさと水と土保全基金条例の制定

〔工事請負契約〕

◎工事名 町道湯本免口線臨時交付金（局部改良）工事

・工事請負金額 五千二百五十三万円（消費税含む）

・契約の相手 株式会社高橋組

◎工事名 林業地域総合整備事業 林道亀石線開設工事

・工事請負金額 六千八百八十万円（消費税含む）

・契約の相手 株式会社高橋組

国保は助け合いの制度です

（保険税率は据え置き・保険証が変わります）

国保制度に

ご協力を

国保は、私たちが病気やケガをしたとき安心して医療を受けられる医療保険制度です。

この大切な制度は、皆さんの理解や協力があつてはじめて健全に運営されるものです。

国保制度を維持していくためには、皆さんから納めていただく保険税が基になります。国納めていただく保険税は、国

国民健康保険からのお知らせ



国保制度は住民の国保税で支えられています

の補助金と合わせて医療費や助産費、葬祭費などの給付費用として使われ、皆さんの健康を守るための貴重な財源となります。

平成七年度の

保険税率決まる

平成七年度の税率・税額が決まりました。平成六年度と同率・同額です。（下表参照）
保険税の額は、基本的にはその年の医療費がどのくらいになるか予測した上で税額が決定さ

別表 平成7年度国保税率表

区分	税率	説明
所得割	5.56 / 100	所得金額1万円内に対し 556円
資産割	57.83 / 100	固定資産税額1万円内に対し 5,783円
均等割	23,300円	加入者1人分 2人の場合は46,600円
平等割	28,500円	1世帯当たり

れます。

医療費が増えれば、保険税も増えてしまいます。

そのため日頃から健康に心がけ、医療費の節約にご協力をお願いします。

一世帯当たりの年間保険税の最高限度額は、五十二万円です。また、所得の低い世帯は、その世帯の総所得と人数により二割、四割、六割の軽減制度があります。

保険証の

更新について

九月一日から国民健康保険の保険証と退職者医療制度の保険証が「さくら色」に変わります。いままでの「青色」の保険証は八月三十一日限りで使用できませんので注意してください。

更新は、八月末に各集落総代さんを通じて行います。

⑤・⑥の交付を受けている方も同時に更新します。

入院時食事

療養費について

入院が必要になった方は、入院時食事療養費の一部負担として、一日六百円を医療機関の窓口でお支払いいただきます。

所得の低い世帯は、一日六百円から四百五十円に減額する制度がありますので、住民課福祉係に問い合わせください。

こんな時は

届出を忘れずに

◇ 社会保険などの保険に加入したとき

（また、新しい保険証が手元に届いていないときは、「〇月〇日から社会保険に加入し

たがまだ手元に届いていない」と、一言医療機関の窓口でお話してください）

▼ 注 手続きが遅れますと保険給付分を返還していただくことがありますのでご注意ください。

◇ 交通事故など（第三者行為）により診療を受けるとき

◇ 保険証を紛失したとき
（保険証は大切に保管し、月に一度は医療機関の窓口提示してください）

他人に使われたりサラ金などでお金を借りられたりし、被害に遭うことがありますので取扱いにご注意ください。◇ 遠隔地に住む人が出たときなどです。届け出は、早めに行ってください。

お気軽に

問い合わせを

国民健康保険は、皆様の保険です。保険税のことや医療のことなどで分からないことがありましたら、お気軽に問い合わせください。

《問い合わせ》

町役場 住民課福祉係

☎ 6-13131 内線56

⑪ シリーズ ほくほく線の旅

日本一うまいトコロテン

(大島村発)

ほくほく線沿線市町村による広域広報、「ほくほく線の旅」。

十市町村の紹介が終了し、二カ月の休みがあり

ましたが、今月号から二回目の「旅」が始まります。順番は前回と同じく、大島村からです。

今回は大島村の自慢の味覚、今が旬の「トコロテン」の紹介です。

ほくほく大島駅から歩いて三分の保倉川沿いに看板を出すのが、「日本一うまいトコロテン」。今の主人は四代目で、百年からの歴史を誇るこの店のトコロテンは、ほくほく線沿線の夏を代表する味覚です。

ここのトコロテンは吟味された天草と、豊富にわき出る清水が命とか。ピリツと効く辛子をつけて、一本箸で食べるトコロテンは最高に涼を呼びます。箸一本でツルツルッと流し込むのが、江戸時代から伝わる食べ方です。

「お客さんの八割は村外者で

す」と話すのは、同店の武江秋代さん。上越方面からわざわざ食べに来る人も多く、お盆や暑い日には早々と売り切れになる日も多いとか。

外回りを担当する勤め人のオアシスとなっているようです。料金は数年来、一皿百六十円。

清涼感のあるのと越は、一度食べたらくせになってしまいませう。この夏は、トコロテンを食べに大島村にお越しください。



ガンバレ青春は都合によりお休みします。

消防団長に飯塚正和さん

— 田辺前団長さんご苦労さまでした —

平成4年4月以来、3年間松之山町消防団長として活躍された松之山の田辺慎一さんが、6月30日付けで退団され、その後任として蒲田(豊田)の飯塚正和さん(46)が7月1日付けで任命されました。

飯塚さんは、昭和49年に松之山町消防団に入団以来、部長や分団長を歴任され平成4年から副団長として活躍されてこられました。今後は、団長としてますますのご活躍が期待されます。田辺前団長さん、ご苦労さまでした。



楽しい愉快な

なかま ⑫

大荒戸・球好会(ゲートボール)

今月は、大荒戸・球好会のみさんの登場です。

「球好会を紹介ください」

この会は、大荒戸老人クラブの中でゲートボールが好きな仲間で行っています。現在の会員は八人。今年で十二年目です。

「活動内容をお聞かせください」

現在、練習は毎週日曜日の午後からです。以前、大勢いたころは早朝の五時に集まって練習したことがあります。その頃は、町の大会で二回も優勝しま



した。メンバーも多かったし、ゲートボール場も町内で一番に造ったりで、一生懸命でした。

「ゲートボールの魅力は」

みんなが集まってゲートボールを楽しむだけでなく、話しをしたり笑ったりすることがいいですね。みんなであれ合うことが一番だと思います。

ゲートボールは他のスポーツにない面もあります。例えば、ゲートボールならプロの人とやっても、ゲートを通過すれば一点は取れます。他のスポーツでプロから一点取るのは至難の技です。そこも魅力でしょうか。

「今後の目標は」

最近、試合では勝っていないので、今年は何とか勝ち抜きたいですね。

「町への要望など」

昨年、ゲートボール場にイスをもらいました。とても、重宝しています。町で不要な物があつたら、ぜひ分けてほしいです。それと、他の団体との交流試合が出来れば嬉しいですね。

自然が 大好き⑫

キレンジャク

Bombycilla garrulus
(スズメ目レンジャク科)

レンジャクの仲間には、ヒレンジャクとキレンジャクの2種類がいる。ひと目見てはつきりと違うところは尾羽の先端の色で、「ヒ」は赤く、「キ」は黄色い。スズメより少し大きく、立っている頭の羽毛にも特徴がある。

冬鳥として、ブナの葉が落ちた頃になるとやって来る。小さい声で「ツリリリ、チリリリ」と鳴き、この声で存在に気付くことが多い。1月頃、湯山の県道沿いの熟したカキの実に小群で集まっていることがある。2年前の2月、家の近くの電線にとまったキレンジャク(写真)が落とした糞を水に溶かして見るとムラサキシキブの実の破片のようなものも見た。冬期間、少ない果実を探しながら少しずつ移動しているようだ。

松之山町野鳥愛護会会員 村山祐一



真美ちゃん登場(2歳1カ月)



渡辺正孝・淑子さんの長女

(東山・坂本)

No.3



みなさん、こんにちは。私の名前は、渡辺真美です。私の誕生日は、六月九日です。私の家では、六月生まれが三人います。おじいちゃんとお父さんとそして私。お誕生日のお祝いに、家族で旅行に行ってきました。大きなお風呂においしい料理がたくさん、楽しかったよ。また、家族みんなで行きたいな。私の日課は、キビに「よくないれ」と言って水をやること。いっぱい実をつけるのいいな。私、こんどお姉さんになるんだよ。産まれてくる赤ちゃんは、妹かな弟かなとつても楽しみ。早く会いたいな。お姉さんになるから甘えてなんていられないぞ。すっかりしなくちゃー

東京事務所 だより

今がチャンス！Uターン就職

六月二十三日と二十四日、日本橋プラザビルで上越地域Uターン就職相談会が行われ、上越地域出身の学生やUターン希望者が大勢来られました。

今年の就職戦線は学生にとって非常に厳しく、大手企業の採用枠は軒並み減少しています。

しかし、今まで優秀な人材を確保できなかった地方の中小企業の採用意欲は高く、学生の地元指向と重なってUターンする人が増えています。

松之山でもUターンする人が多くなりましたが、致命的な欠点は受け入れ業種の少なさで、これは松之山町単独で解決できるものではありません。

広域行政圏内であれば通勤は可能ですし、松之山へ就職することだけがUターンと考えるのはもう時代遅れでしょう。

また、テレビや雑誌で紹介される都会のイメージは華やかですが、土地も家も持てない若者にとっては日々生活して行くのがやっとなのです。

極端な話をすれば、松之山の自宅へUターンすれば家賃はタダ、したがって家賃分給料が下っても生活できます。

学生が希望する職種は様々ですが、受け入れ企業側の努力しだいで予想以上の人材を集めることが可能なのです。

学生側も大手企業にばかり目を向けるのではなく、自分が本当にやりたい仕事は何なのか、今後業績を伸ばしそうな企業はどこなのか見極める能力が求められています。





6月14日、林道野々海天水越線で最後まで残っていた道路の除雪作業が行われました。これで、ようやく深坂峠にも夏がやって来しました。

深坂峠にも「夏」



皆さんからの話題、情報お待ちしております。

総務課行政係 ☎ 6-3131 内線23

マリンバの音色にうっとり

町民体育館で青少年巡回公演

6月16日、町民体育館において平成7年度新潟県青少年巡回公演が行われました。この事業は、児童・生徒に優れた演奏家による演奏会を提供し豊かな情操の涵養を図ることを目的に県内を巡回しながら実施されているものです。今回の巡回公演では、「水野与旨久〜マリンバコンサート」が行われ、「ウイリアムテル幻想曲」など7曲の演奏と楽しいおしゃべりがありました。参加した児童・生徒は、マリンバのやさしい音色にうっとり聞き入っていました。



生命と財産は我々が守ります

町内3地域で消防団想定演習

6月15日、町消防団の想定演習が行われました。今年の想定演習は、天水島日集会所周辺・黒倉旧農協倉庫周辺・旧三省小学校体育館周辺の3カ所で実施されました。各地域ともサイレンの合い図で消防団員と消防ポンプが出動。団員の素早いホース展開とポンプ操作で放水準備が完了すると、総指揮者の「放水始め」の合い図で一斉放水されました。各地域とも総指揮者のもと、地形や水利を把握しての機敏な行動と適切な消火活動が行われていました。

いまこそ！地元企業に就職を

希望館で高校生への企業説明会

6月3日、大蔵寺高原レストハウス希望館で地元安塚高校松之山分校3年生を対象に「地元企業求人説明会」が行われました。この事業も今年で5年目を迎えました。ここ数年卒業後は地元の企業に就職する人が増えています。この日は、地元企業9社が参加して説明を行いました。また、今年は高校側の就職指導会と合わせて実施され、上越職業安定所の山本統括職業指導官が職業の選択についてや就職のアドバイスなどについて、わかりやすくお話しされていました。

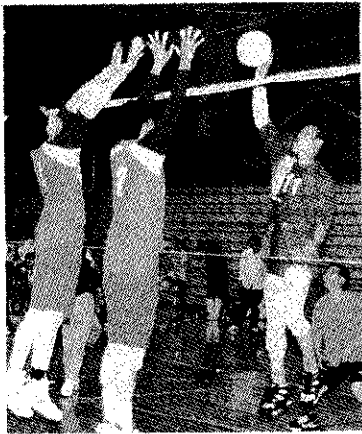


男子の部

松代高校VBCが優勝

—町民バレーボール大会—

6月21日・22日の2日間、町民体育館で町民バレーボール大会が開催されました。成績は、次のとおりです。【男子の部】1位—松代高校VBC、2位—69'ers【女子の部】1位—安高松之山分校、2位—松之山婦人



とっても楽しかったね！
—お父さんといっしょに
体力づくり—

6月30日、町民体育館で親子約100人が参加して「お父さんといっしょに体力づくり～親子体操」が行われました。町教育委員会の武田先生の指導で、新聞紙やヒモを使ったものなど楽しい体操が紹介されました。子供たちは、お父さんやお母さんと一緒に体を動かすことができて大喜びでした。

独特な語りとテンポに心行くまで堪能

休養村センターで落語口演



6月24日、自然休養村センターで松之山地区協議会の主催による「落語口演会」が行われました。口演は昼と夜の2回、出演は真打ちの立川龍志ほか2名。落語独特の語りとテンポの良さ、最後は落しめるこっけいな話に集まった聴衆は、心行くまで落語を堪能していました。

大蔵寺牧場に新しい仲間入り

鹿4頭を放牧しました

6月29日、大蔵寺牧場に鹿4頭が放牧されました。この鹿は、塩沢町で飼育されていたものを今年の5月に譲り受けたもので、いままでは中原集落で飼育されていました。牧場内には特別な柵が設けられ、鹿4頭は元気に放牧されました。この新しい仲間には先輩格の牛たちも大歓迎。牛と共に大蔵寺高原の人気者になりそうです。



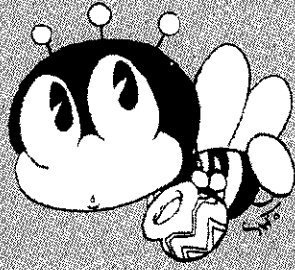
スポーツ&健康

学校創立120周年を記念して盛大に

松里地区体育大会開催



6月18日、松里地区体育大会が行われました。今年、松里小学校は創立百二十周年にあたり、地区体育大会も創立を記念して盛大に実施されました。種目には、「百二十年トライアルレース」などが行われ、朝からの快晴にも恵まれて選手や役員も真つ黒に日焼けしながらの楽しい体育大会でした。



ユ- マイ ハ- 湯 米 心 ゆ め ところ

No.14 公民館 ☎6-2265 担当 武田

事業案内

7/10
8/10

ニコニコ教室

7月のニコニコ教室は、
ビニールプールで楽しく水遊び

▼期日 7月12日(木)
▼時間 午前9時～11時
▼場所 町民体育館

綱引き大会

恒例の商工会主催町民綱引き
大会が第十一回目を迎え、盛大
に開催されます。昨年は「綱引
き同好会」(男子)、「出たぞクマ
(女子)」が優勝しています。今年
も豪華賞品が盛りだくさん。力
を合わせてレッツ・トライ!

▼期日 7月13日(木)
▼時間 受付午後5時30分～
開会式午後6時30分～
競 技午後7時～

▼会場 町民体育館

高齢者スポーツ大会

おじいちゃん、おばあちゃん
が元気にスポーツを楽しみます。
各種目の優勝チームは8月の郡
大会に出場できます。

▼期日 7月13日(木)
▼時間 午前9時～
▼会場 町民体育館・グラウンド

親子映画の夕べ

夏の夕べをアニメ映画ですご
してみませんか。今月の作品は、
日本文学史上最高峰に輝く傑作
太宰治の「走れメロス」

▼期日 7月15日(土)
▼時間 午後7時30分～
▼会場 自然休養村センター



ソフトバレーボール教室

子供から壮年まで、楽しく安
全に体力づくりができるソフト
バレーボールの教室です。7月
23日(日)のJAしぶみミニバレー
ボール大会に向けての練習など
いかがですか。

▼期日・会場
7月17日(月) 町民体育館
7月18日(火) 松里小学校
7月19日(水) 東川小学校
7月20日(木) 浦田小学校
▼時間 午後7時30分～9時
▼持物 運動着、スツク
▼申込 必要なし、どなたも気
楽に参加して下さい。

歴史教室

7月の歴史教室のテーマは、
「松之山の史跡、文化財」

▼日時 7月21日(金)午後8時～
▼場所 自然休養村センター

朗読教室

今月とりくむ作品は、
「あやちやうちやう 松之山民謡」
「あやちやうちやう 松之山民謡」
「明日の高齢化社会づくりを考える 中島良一」

▼日時 7月21日(金)午後7時30分～
▼場所 自然休養村センター

生花教室

夏の山野草をすてきに生けて
みませんか。

▼日時 8月1日(火)午後8時～
▼場所 自然休養村センター

連帯から創造への躍進 第20回町民体育大会



7月30日(日) AM8:30～PM3:30
松之山町民グラウンド

JAしぶみスポーツ大会

JAしぶみ主催のゲートボ
ル大会とミニバレーボール大会
が開催されます。みなさんお誘
い合わせの上、ご参加下さい。

▼期日 7月23日(日)
▼時間 午前8時30分開会
▼会場 松代町総合体育館

▼申込 農協へ、〆切7月14日
▼問合せ JAしぶみ7-2002
※子供ジャンケン大会同時開催

▼期日 7月28日(金)雨天29日
▼時間 午前8時30分開会
▼会場 松代町民グラウンド

▼申込 農協へ、〆切7月10日
▼問合せ JAしぶみ7-2002

自然体験教室

松之山の大自然から、たくさ
んのことを学んでみませんか。
子供たち同志で、親子で、たく
さんの方の参加をお待ちしてお
ります。

▼内容 大蔵寺高原でオリエン
テーリング(雨天中止)
▼期日 7月16日(日)
▼時間 午前9時～12時
▼集合 休養村センター前
▼交通 センター→大蔵寺→バス↓

家庭教育講演会が実施されました

6月26日家庭教育カウンセラーの内田玲子先生をお迎えし、家庭教育講演会を実施しました。先生の熱心で迫力ある講演に、参集した皆さんは身を乗り出して聞き入った90分間でした。以下先生の講演の一部を紹介します。

- すべての問題の根は家庭にあります。問題の原因を人のせいにしていたのでは、いつまでたっても解決はしないでしょう。答えは、生活の中、自分の身の中にあることを認識することが大切です。
- 人生はわずか70～80年と短いものです。マイナス指向で生きるより、プラス指向で生きてみませんか。
- 子供にとって、家庭は練習の場であり、外はその実現の晴舞台です。善きも悪しきも、家庭での生活が外で現われるのです。家庭で、いじめ育てを受けていれば、外でいじめられるのも当然です。
- 子供の投げ掛けに、素直に直球で応えてください。大人の理論で変化球やドッチボールにしていたのでは、子供は混乱するばかりです。
- 問題行動を予告するサインは必ずあります。それに敏感に気づき、ちょっぴりアドバイスしてやるだけで、子供は良くなるのです。気づいたときが変えるときなのです。

講演を録音したテープを貸し出します。聞いてみたい方は公民館までお申し込みください。

先生の著書を公民館でも揃えました。どうぞ、ご覧ください。

「いじめの根っこ」「台所哲学」「21世紀への旅立ち」「ひとつの命の誕生」「飛翔」

松之山湯鳥プラン情報

6月の松之山町生涯学習推進会議では、生涯学習推進の目標設定と松之山町の学習活動の現状の洗い出し及び課題の検討を行いました。

今後、生涯学習推進計画「松之山湯鳥プラン」を策定していく上で土台となる重要な案件であり推進会議委員で熱心に検討しました。

生涯学習推進の目標については、特設の委員会を新たに作り、検討に検討を重ねました。その結果、次のように設定することになりました。

【スローガン】

- 自由に個性を生かしてトライ！
- ・ユニーク・トライ・リベラル

【目 標】

- 心をふくらませ合い、うるおいのある生活を送ろう
- スポーツに親しみ、健康な体を作ろう
- 自然や文化に親しみ、豊かな心をはぐくもう

学習活動の現状と今後の課題については、委員がそれぞれ自分の分担した内容について、次の会議までにまとめてくることになりました。

新刊図書紹介

いじめの根っこ	内田玲子
飛翔	内田玲子
21世紀への旅立ち	内田玲子
台所哲学	内田玲子
ひとつの命の誕生	内田玲子
知の論理	船曳建夫
最新東洋事情1995版	深田祐介
政治家は悪党に限る	早坂茂三
新・本を採る本	本の探偵団編
地方の主長	本間義人
おりがみの本	たきがわきょうこ
Let's! チラシ遊び	澁谷ミユキ
おもしろハンカチ遊び	タキガワタカシ
ハラスのいた日々	中野孝次
清貧の思想	中野孝次
フォレスト・ガンブ	ウィンストン・グルーム
いいことから始めよう	A・J ツワルスキー
たけしの死ぬための生き方	ビートたけし
おごるな上司	堀田 力
お役所のご法度	宮本政於

生涯学習施設紹介

- 施設
- フレキシブルアクア施設
- ・ 50 m公認プール
- ・ アイススケートリンク
- ・ 観客固定席
- ポップアクア施設
- ・ 25 mプール
- ・ レジャープール

県立柏崎アクアパーク

家族みんなで楽しめる新しいレジャーエリア、新潟県立柏崎アクアパークです。バッチリ泳ぎたい人は公認の50 mプールで、思いきり水遊びがしたい人はレジャープールで泳いだあと、浴室でリラックス。家族みんなで出かけてみませんか。

▼所在地

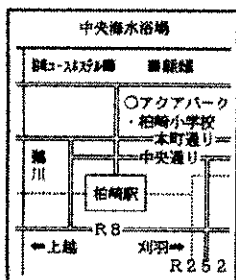
柏崎市学校町6番73

▼施設

○フレキシブルアクア施設

柏崎アクアパーク

(0257-221555)



▼問い合わせ

利用料金、休館日、開館時間等の詳しい案内は左記にどうぞ。

○リラックス施設

- ・ 全身浴
- ・ サウナ
- ・ 水風呂
- ・ かぶり湯
- ・ うたせ湯

○休憩室、レストラン

お知らせ

戦没者等の 遺族の皆さまへ

住民課福祉係

戦没者等の遺族に対する特別
弔慰金支給法が改正され、戦没
者等の遺族のうち、平成7年4
月1日において公務扶助料、遺
族年金等の受給権を有する遺族
がいない方に特別弔慰金として
額面40万円、10年償還の国債が
支給されます。

例えば、次の方などが支給対
象となります。

- ①弔慰金の受給権を取得した方
- ②弔慰金の受給権を取得した方
が平成7年4月1日にいない
ときは、その他の先順位の遺
族の方

なお、請求手続及び内容の詳
細については、松之山町役場住

民課福祉係までお問い合わせく
ださい。

☎613131内線56

第45回「社会を 明るくする運動」

新潟県実施委員会

毎年7月は、「社会を明るく
する運動」の強調月間です。
この運動は、すべての国民が
それぞれの立場において力を合
わせて、犯罪や非行の防止と罪
を犯した人たちの立ち直りに暖
かい愛の手をさしのべ、犯罪や
非行のない明るい社会を築こう
とする運動です。

本年度の重点目標は、
「少年の非行防止と更生のため
の、地域住民の理解と参加を求
める」です。

私たちの地域社会から非行に
走る少年を出さないよう一人一
人が力を合わせましょう。

また、不幸にして非行に陥っ
た少年の更生を援助しましょう。

神戸市長からの お礼のメッセージ

町民の皆様 温かいご支援を
ありがとうございます。

神戸が、いままで以上に魅力
ある街としてよみがえるよう努

力していきますので、今後とも
ご支援をいただきますようお願い
いたします。

平成7年7月

神戸市長 笹山幸俊

参議院議員通常選挙は

7月23日(日)

投票日です。

大切な一票です。投票方法にお気をつけください。

家屋評価

新築、増改築、取り壊し、
売買など家屋の異動をお知
らせください。

◇固定資産税は、毎年1月
から12月までの異動分につ
いて翌年度から課税台
帳に登録されることにな
ります。

◇異動家屋の調べは、先日
「回覧」でお願いしまし
たが、今後も次の計画を
される方は、そのつど早
めにお知らせください。

①新築 ②増改築 ③屋根
改造 ④取り壊し(一部ま
たは全部) ⑤売買 その他
住宅以外の家屋、「車庫」
「付属家」「山小屋」など
についても申告ください。

後日、確認や評価にお伺
いします。

《問い合わせ先》

町役場 総務課 税務係

☎6-3131

(内線26・27)

夏の水難事故を防ごう！

親の目と 心で防ごう 水の事故



幼児の水の事故で最も多いのが、川辺や池で
の水遊びによるものです。子供たちは、遊びに熱
中するほど周囲の状況が目に入らなくなります。
○子供たちだけで水泳や水遊び等にはいかないよ
うに注意しておきましょう。
○海辺、川、池等の危険な場所で遊んでいる子
供にみんなで一声かけましょう。
○地域で危険な場所の点検を行い、早めに柵を
するなど安全対策を講じましょう
○幼児は絶えず目の届く所で遊ばせましょう

夏の交通事故防止運動

8月1日(火)～8月10日(木)までの10日間

《運動のスローガン》

疲れてる 夏こそ願う ゆとり運転

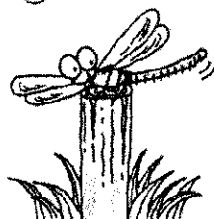


柳友作品紹介
 ほんやりと見えて巨悪へ法の網
 捨てる気になると出てくる物の価値
 うまく書けたと始末書を誉められる
 湖底から生まれた民話生き続け
 愚痴言わぬ母はシアワセ色に見え

まさ子
 竹田
 大木
 富美子
 円子

川柳
 まつのやま文芸
 強い綱苔のむすまで期待する
 どれひとつ捨てる物ない狭い部屋
 授かった命どこまで続くやら

黒倉 草村正孝(一枚田)



お知らせ

年金相談会の開催

現在の国民年金制度についてのどんなご相談でも結構です。お気軽にお越しください。

日時 7月20日(木)午前10時～午後3時
 場所 役場会議室

問い合わせ先
 ☎ 6-3131 (54)

すてきな

—観光協議会—

名称 キッチフレーズ 募集中!

新広域市町村圏の6市町村で構成する観光協議会では、すてきな「名称」と「キッチフレーズ」募集しています。ふるってご応募ください。

【募集内容】 観光協議会の「名称」部門と「キッチフレーズ」部門

1 応募方法 ①官製ハガキでご応募ください。ハガキ1枚につき1作品。
 (2つの部門を1セットでも可能。別々でも可能)

②あなたの「住所・氏名・年齢・電話番号」もご記入ください。

2 締め切り 平成7年8月20日(日)

3 賞品等 ①採用一席(各部門別に)賞金3万円と豪華景品を贈呈
 ②同名多数の時は抽選
 ③応募者全員に参加賞

4 発表 本人に通知及び広報紙で紹介

5 応募・問い合わせ先

〒千948 十日町市千歳町3-3

十日町市役所 商工観光課内
 「観光協議会名称募集係」

☎0257-57-3111 内線232

あるいは、町役場振興課 商工観光係、

☎6-3131 内線31

新広域市町村圏

募集

松之山町

松之山町

一般事務職員募集します

- ◆職種 一般事務
- ◆採用予定人員 1名
- ◆受験資格

昭和46年4月2日から昭和53年4月1日までに生まれた者で、平成8年3月卒業見込みの者を含みます。

◆試験日時及び試験会場

(1) 第1次試験

- ・試験日 平成7年9月17日(日)
- ・試験場 県立高田工業高等学校(上越市本城町)
- ・合格発表 平成7年10月上旬に発表し、合格者には通知します。

(2) 第2次試験

- ・方法 第1次試験合格者に対し、面接試験、身体検査を実施します。
- ・試験日及び試験会場

平成7年10月中旬ころ、松之山町で実施します。

◆申し込み方法

町役場の総務課行政係に受験申し込み用紙を請求してください。

◆受付期間

平成7年7月7日(金)から平成7年8月11日(金)まで

※詳しくは、町役場総務課行政係までお問い合わせください。

☎6-3131(内線) 2・23

温泉定休日			
温泉センター 翠の湯			
7月	13	27	15 31
8月	10・24	30・31	無休

戸籍の窓

おめでた(出生)

(生年月日)

湯本 博仁ちゃん 樋口博明・千夏さん

兎 口(うしろ) 7・6・12

おくやみ(死亡)

(死亡年月日)

小野塚金治さん 75歳

天水島(中坪・前) 7・6・2

村山 高藏さん 68歳

湯 山(中 屋) 7・6・14

大野 ヒタさん 77歳

上川手(観音寺) 7・6・14

相澤 ヨリさん 78歳

小 谷(日之出屋) 7・6・18

高澤 徳松さん 88歳

北浦田(やち) 7・6・21

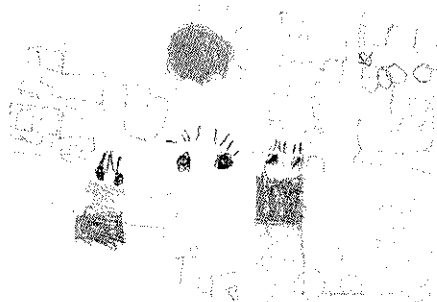
樋口 チユさん 87歳

湯 山(大 工) 7・6・23

※6月1日から30日までの届出分です。

※広報に載せてほしくない方は、届出のときに窓口にお話してください。

ぼくの絵 わたしの絵 松之山保育所



みんなで車にのっておでかけするところ



くさぎ組
こばやしだいま
くん
(上蝦池・与八)



くさぎ組
おのづかなおや
くん
(東川・新宅)



お父さんとサッカーしているところ

訂正とお詫び

先月号の16頁「戸籍の窓・おめでた」で高橋和樹ちゃん(湯本・川向)の生年月日で平成4年は平成7年の誤りです。訂正してお詫びします。

- ▼6月のできごと
- 1日 議会経済建設委員会
 - 6日 議会総務民生委員会
 - 7日 選挙管理委員会
 - 8日 たんぼシンポジウム(9日まで)
 - 11日 消防団半日講習
 - 12日 集落総代会
 - 13日 衛生班長会議
 - 15日 民生委員会
 - 町消防団地域想定演習
 - 老人クラブ会長会議
 - 6月定例会議(23日まで)
 - 22日 農業委員会総会
 - 26日 ▼7月15日〜8月10日の予定
 - 16日 上越消防大会(上越市)
 - 23日 参議院議員通常選挙
 - 30日 第20回町民体育大会
 - 1日 夏の交通事故防止運動(10日まで)

こよみ



町の動き

7月1日現在

総人口 3,545人 (-1)

男 1,728人 (+2)

女 1,817人 (-3)

世帯数 1,176戸 (-1)

() 内は前月との比較

編集室から

先月二十二日、松代町で郡内広報担当者研修会があり参加してきました。その際、平成九年春に開通予定の北越北線の鍋立山トンネルの建設現場を視察しました。鍋立山は平成四年十月に貫通し、いま最後の作業コンクリートの巻き立てが行われていました。この作業も、今月の三日には終了し、これからはよいレール引き作業へ移ることでした。▼世界でも珍しい土質といわれ、難工事だった鍋立山トンネル。六百メートル掘り進むのに十年(普通だと一年半位)かかったそうです。その経費も一メートルあたり、何と二千万円と聞いてビックリ。沿線の市町村のビックな夢を乗せて走る「ほくほく線」は、間もなく「発車オーライ」